

【開会 午後1時】

1 開 会

2 競輪事業部長挨拶

○部長 皆様、こんにちは。今年の4月に函館市競輪事業部長を拝命いたしました伊与部でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

函館市競輪運営協議会開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、何かとお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より、市営函館競輪の運営にご理解、ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、昨今の競輪界は、GⅠ、GⅡをはじめとしたビッグレースの低調傾向は継続しておりますが、先般発表された平成30年度の全国の売上集計によりますと、ミッドナイト競輪の売上好調の影響もあり、対前年比で2.2%増となる約6千541億円を売り上げ、微増ではありますが5年連続で前年を上回ったところであります。

令和元年度の函館競輪については、6月22日から25日の日程でGⅢグレードの記念競輪を開催し、多くの競輪ファンの皆様にご来場いただくことができました。

また、普通競輪はこれまで全てナイターで開催しておりましたが、4月より、更に遅い時間帯に開催するミッドナイト競輪も新たに始めまして、既に今年度の開催分は8月15日で終了いたしました。売上は好調でございました。

また、今年度は市営函館競輪の更なるPRのため、市営函館競輪宣伝大使として、函館市出身の演歌歌手であります大石まどか様や、函館市出身の元陸上自衛官で現在はタレントとして活動されております福島和可菜様、函館競輪の実況アナウンサーであります池田牧人様はじめといたしまして、現在7名の方に就任いただいております。全国各地で市営函館競輪のPRに努めているところでございます。

平成30年度は、6月の記念競輪、また4月に函館ナイター競輪20周年記念として、計2開催のGⅢナイターを開催することができました。しかし、昨年9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」に伴う大規模停電と、その後の電力不足による節電のため、9月に開催予定であったFⅠ・FⅡナイターを各1開催、計2開催中止したこともあり、売上は目標を大きく下回る約138億円となりました。ただ、収支については、公債費の減少、経費の縮減等により、平成25年度から6年連続で、単年度収支の黒

字を計上することができております。

また、平成29年度決算において累積赤字を解消することができたことから、平成30年度には、平成11年度を最後に、長らく実施することができていなかった「一般会計への繰出し」を再開することができました。

このような状況の中、函館市競輪事業部では、競輪事業の実施による財政への貢献を目指し、自転車競走の振興と発展、産業振興とスポーツ振興に寄与することを目標に掲げ、現在の競輪ファンの維持にとどまることなく、新たなファン層の開拓、更には経費節減による収益確保について、組織一丸となって取り組んでいるところでございます。

北海道で唯一の競輪場を将来にわたって更に向上していけるよう、今後とも努力してまいりますので、皆様の一層のご理解、ご協力をお願いし、私からの本協議会開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。

限られた時間ではございますが、本日はどうぞ、よろしくお願いいたします。

3 報告事項

(1) 平成30年度自転車競走事業特別会計決算（案）について

（配布資料1，2ページに基づき米谷事業課長から説明）

○今井会長 このことについて質問はあるか？

（各委員：特になし）

(2) 令和元年度函館競輪下期開催日程について

（配布資料3ページに基づき米谷事業課長から説明）

○今井会長 このことについて質問はあるか？

（各委員：特になし）

(3) 令和元年度市営函館競輪売上状況について

（配布資料4～5ページに基づき米谷事業課長から説明）

○二階堂委員 一般会計への繰出金7千万円は何かで決まっている金額なのか。

○部長 何かで規定されているものではなく、財政部門と協議して決まるも

のです。

○今井会長 一般会計への繰出金 7 千万円は弾力条項適用により増加する
予算に影響を受けるのか。

○部長 売上増加に伴い予算が 2 7 億円増える。決算次第ではあるが、収益
も増加した場合は財政部門と協議することになる。

○木田委員 来年度は一般会計への繰出金が 7 千万円でなくなるのか。

○部長 現時点で確かなことは言えないが、一般会計への繰出金の他、競輪
場施設の大規模改修等に備えるための基金に積み立てることも考
えられる。

○今井会長 事務局，委員から他に意見・質問等はあるか？

(事務局・各委員：特になし)

=以上をもって終了=